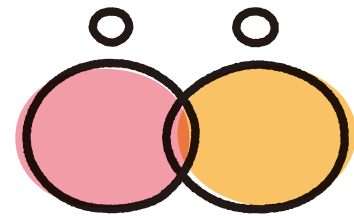


人と人がつながるカタチを描きました。
一人ひとりの支えあう気持ちが重なりあって、
もっと大きなチカラが生まれるといいな
という意味をこめて



今できること プロジェクト

東日本大震災発生時からの取り組みをまとめておきたい、新たなフェーズとしてどのような取り組みをしたら良いのか、企業研修として被災地へ訪問を考えたい、など東日本大震災支援関連でのお困りごとなどございましたらご遠慮なく当プロジェクト事務局にお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせ



●営業局営業部

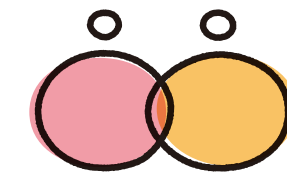
〒980-8660 仙台市青葉区五橋1-2-28
TEL 022-211-1318 FAX 022-227-0923

●東京支社営業部

〒105-0004 東京都港区新橋5-13-1新橋菊栄ビル7F
TEL 03-6435-8401 FAX 03-6435-8406

●大阪支社営業部

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-1-23
TEL 06-6227-1051 FAX 06-6227-1060



今できること プロジェクト

2026-2027

学び直しと伝承

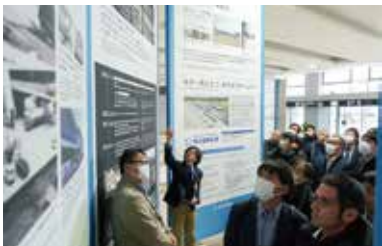
2026年度

賛同企業募集
企画書

命を守る防災・減災の知恵を。
教訓の担い手たちから多くを学び



2026年7月



地域の未来のために 河北新報社が考える復興支援プロジェクト

「今できることプロジェクト」は、東日本大震災から懸命な復旧・復興の取り組みの中で「今、私たちにできることは何だろうか?」という問いかけから2012年に始動しました。

これまで、多くの企業・団体の皆さま、読者の皆さまから共感をいただき、さまざまな活動を展開してまいりました。

東日本大震災の発災から16年目を迎える2026年度は、被災地に寄り添って伴走するプロジェクトの原点はそのままに、より学びを深める機会の創出に努めたいと考えております。そこで、いつ起こるのか分からない災害への備えを知るプログラムにも引き続き取り組みます。

2026年度、賛同企業・団体の皆さまと取り組むプログラムは、昨年度も好評だった(公財)3.11メモリアルネットワークのガイドで巡る被災地視察バスツアーを2回開催します。11月中旬に岩手県陸前高田市、来年1月に宮城県七ヶ浜町を予定。3.11メモリアルネットワークの知見を生かしたツアーは、被災地域の現状を学ぶ格好の機会になります。また、賛同企業向けに、初めての合同震災研修会を実施します。

また、昨年度大いに反響を呼んだ仙台市危機管理局防災・減災部 減災推進課による都市型災害に備えるワークショッププログラムを今年度も開催。人口が密集する都市部での災害への対処、命を守るための心構えを学ぶワークショップは2回の実施を予定しています。

東日本大震災を経験していない世代が増え、転勤や就職、進学などで震災後に宮城県内で生活を始めた方々も少なくありません。東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城で暮らす私たちは、記憶が薄れつつある震災と復興の過程を改めて学び直し、身近で起こり得る災害への備えを忘れてはいけません。

当プロジェクトでは、被災地の新聞社ならではのプログラムを準備させていただきました。ぜひ趣旨にご賛同いただき、企業・団体の皆さまと一緒に取り組むことが出来たら幸いです。

これまでの詳しい活動の記録は
こちらからご覧いただけます。



そして、これから、ともに。

1

賛同企業限定プログラム

3.11メモリアルネットワーク × 今できることプロジェクト 3.11から未来を考える 合同震災研修会

震災への理解を深め、命を守るための得難い学びの機会を。



研修実施概要

- 開催日時／2026年10月8日 9:30～12:00
- 会場／河北新報社 セミナールーム(定員30名)
- 対象／プロジェクト賛同企業の新入社員、宮城県への転勤者など。
1社あたり3名まで
※参加者には、事前・事後のレポート提出をお願いします。

講師紹介

語り部講話

阿部 じん さん
3.11メモリアルネットワーク職員



震災当時は石巻市の高校1年生。自宅で津波に被災し、祖母とともに家ごと流されながらも9日後に救出されました。震災体験や、その後に抱えた葛藤を語りながら、「生き残った経験を伝える意味」について発信を続けています。

震災に 向き合うということ

武田 真一 さん
3.11メモリアルネットワーク代表理事



東日本大震災時に河北新報社報道部長。編集局次長、論説副委員長を経て「防災・教育室」室長。震災伝承と防災啓発のプロジェクトに取り組みました。2019年定年退社と同時に宮城教育大学特任教授(25年まで)。教職員対象の被災地視察研修などを企画運営。東北大学災害科学国際研究所学術研究員。



東日本大震災の経験を根底に据え、教訓の伝承に関わる個人・団体・拠点施設が地域や世代を超えてネットワークでつながり、過去に向き合い未来へ備える意識を全国、世界と共有しながら、「災害で命が失われない社会の実現」「被災者や被災地域の苦難を軽減し、再生に向かうことのできる社会の実現」を目指して活動している団体です。 <https://311mn.org/>

参加募集について

賛同企業様限定で募集します。
参加の申込みはこちらから。



3.11メモリアルネットワーク×今できることプロジェクト 被災地視察ツアー

3.11メモリアルネットワークのメンバーが同行し、
詳しい解説とともに被災地の今と防災の知識を学ぶ視察ツアーを2回実施します。

被災地視察① 岩手県陸前高田市



「震災の記憶と暮らしの再建を学ぶツアー」

岩手県陸前高田市では、被災後の暮らしや生活再建の過程について理解を深めます。また、被災地を“災害の現場”としてだけでなく、人々が地域コミュニティを再生してきた地域として捉え、防災や支え合いについて考える機会にします。「高田松原津波復興祈念公園」では、パークガイドの解説で見学。「一般社団法人トナリノ」の仮設住宅体験館の見学も行い、語り部の講話に耳を傾けます。

訪問先(予定)

- 高田松原津波復興祈念公園
(パークガイドによる解説案内、タビック45、防潮堤、気仙中学校を巡ります)
- 一般社団法人トナリノ 仮設住宅体験館見学／
岩手大学・井上教授の講話
- 道の駅高田松原
- 奇跡の一本松、他

**企画展開
スケジュール
(予定)**

2026年10月中旬	参加募集スタート
2026年11月中旬	視察ツアー実施
2026年12月中旬	ツアー採録紙面掲載

参加募集について

賛同企業様を中心に一般参加者も募集します。
申込み方法及び詳細は後日お知らせします。

被災地視察② セー浜町



「若い世代と共に考える震災伝承ツアー」

語り部活動に取り組む宮城県多賀城高校災害科学科の高校生たち。また、認定NPO法人レスキューストックヤードが復興支援活動時に拠点としていた「セー浜 みんなの家」は現在、震災伝承の場として活用されています。セー浜町の語り部活動・継承活動の現場に触れ、災害伝承を“受け取る側”だけでなく“担い手”の視点から捉え、地域に根ざした防災・減災のあり方について理解を深めます。

訪問先(予定)

- 宮城県多賀城高校
(津波伝承まちあるき)
- セー浜 みんなの家
(レスキューストックヤードによる復興支援活動紹介、セー浜スタディツアー、若手語り部、被災体験公開ヒアリング等)

**企画展開
スケジュール
(予定)**

2026年12月中旬	参加募集スタート
2027年 1月下旬	視察ツアー実施
2027年 2月下旬	ツアー採録紙面掲載

今度Ando JALフロンティア 2026 - 2027 展開案

そして、これから、ともに。

仙台市 減災推進課 × 今できることプロジェクト 都市型災害に備えるスキルを磨く 防災・減災ワークショップ

(協力／仙台市危機管理局 防災・減災部 減災推進課)



仙台市防災・減災アドバイザーと一緒に 備えを学ぶ

通勤・通学者を含む仙台市の昼間人口は115万人に達します。都市部は生活利便性が高い反面、人口が密集するがゆえ、巨大地震や内水氾濫の発生時に災害リスクが高まる傾向にあります。物流とインフラが広範囲で途絶した東日本大震災では、仙台の都市機能が麻痺。多くの市民が長期にわたって不自由を強いられました。

今年度の今できることプロジェクトでは、仙台市危機管理局減災推進課ご協力のもと、災害リスクへの理解を深め、大規模な自然災害の発生時に推奨される在宅避難や帰宅困難とならないための備えなどの自助・共助を学ぶ実践型ワークショップを新たに実施します。

国連が定めた災害リスクと損失を削減するための国際指針「仙台防災枠組」の理念を実践する当ワークショップ。仙台市防災・減災アドバイザーの指導のもと、日常生活や職場で活かす災害への備えを強化し、皆さまの防災力向上に寄与することを目指します。賛同企業の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

実施予定内容

- 災害VRによる地震・風水害などの疑似体験
- ハザードマップを活用して自宅・職場・通勤経路のリスクを可視化
- 風水害時の行動を時系列で整理する「マイ・タイムライン」の作成
- 「在宅避難」に必要な備え
- 災害時の二次的な被害の要因となる帰宅困難者にならないための対策 など

会場

河北新報社1階ホール(各回定員40名程度)

- 第1回申し込み期間／2026年11月1日～12月10日
- 第2回申し込み期間／2027年 1月3日～ 2月 1日

企画展開 スケジュール (予定)

2026年11月上旬	第1回参加募集スタート
2026年12月17日	第1回ワークショップ実施
2027年 1月上旬	第2回参加募集スタート
2027年 2月 9日	第2回ワークショップ実施
2027年 3月中旬	ワークショップ採録紙面掲載



仙台防災枠組:2015年3月に仙台で開催された「第3回国連防災世界会議」で採択された世界の防災政策に関する2030年を見据えた指針。災害リスクの理解と管理、リスク削減への投資、そしてより良い復興の推進という4つの優先行動を掲げ、災害に強い社会の構築を目指している。

仙台市消防局マスコットキャラクター
防災まさむね君
(協力:伊達家伯(かはく)記念会)

参加募集について

賛同企業様を中心に一般参加者も募集します。
申込み方法及び詳細は後日お知らせします。

ご賛同料金について

※プロジェクト期間途中からの参加も可能でございますが、ご賛同料金については同額になります。

お申し込み締切

2026年8月31日(月)

基本プランA

- ①各回特集紙面に企業名表記
- ②毎月1回、朝刊カラー全5段で企業ロゴ掲載（2026年9月～2027年3月）
- ③被災地支援活動を取材（素材提供も可）し、朝刊記事体モノクロ3段1/2を1回掲載

※被災地支援活動以外の原稿を掲載希望の場合、朝刊カラー4段1/4相当またはモノクロ4段1/2を1回掲載
- ④特設webサイト内で企業ロゴ掲載およびリンク設置
- ⑤「3.11メモリアルネットワーク×今できることプロジェクト 合同震災研修会」への参加権利（3名まで）
- ⑥「3.11メモリアルネットワーク×今できることプロジェクト 被災地視察ツアー」への参加権利（各回3名まで）
- ⑦「仙台市減災推進課×今できることプロジェクト 防災・減災ワークショップ」への参加権利（各回3名まで）

350,000円(税別)

新聞広告追加プラン

オプションプランB(カラー全5段)

プランAの①～⑦に加え、

③朝刊カラー全5段(税別定価1,985,000円)の掲載(1回) 掲載期間／ 2026年9月～ 2027年3月

※ご希望の掲載日をお知らせください。(日幅をいただく場合がございます)

1,700,000円(税別)

オプションプランC(カラー全15段)

プランAの①～⑦に加え、

③朝刊カラー全15段(税別定価4,250,000円)の掲載(1回) 掲載期間／ 2026年9月～ 2027年3月

※ご希望の掲載日をお知らせください。(日幅をいただく場合がございます)

3,600,000円(税別)

紙面展開案

プロジェクトにご協力いただく賛同企業様のために、ツアーの一般参加者を募る募集告知(全5段)や活動内容を伝えるレポート(全15段)ほか、さまざまな紙面展開をご用意しています。賛同企業様の社名やロゴの紙面掲載をはじめ、ディスプレイ広告や記事体広告など、ご要望に合わせてご案内いたします。

紙面展開①

プロジェクト掲載紙面

- 2026年10月1日から(予定)
- 朝刊カラー全15段、全5段 など

紙面に
賛同企業名
掲出

参加者募集紙面



レポート紙面



※昨年度の紙面です。

紙面展開②

プロジェクト告知(社名ロゴ連合)

- 2026年9月～2027年3月まで
- 朝刊カラー全5段

(タテ169mm×ヨコ381mm)

賛同企業
ロゴを月1回
掲出

紙面展開③

震災の教訓を明日に受け継ぐ若き語り部さん(仮)

- 河北新報朝刊カラー全5段×3回(予定) ※賛同企業名のテキスト掲載

東日本大震災の記憶と教訓を、生の言葉で後世に語り継ぐ「語り部」。民間ボランティアや学生、震災遺構のスタッフなどたくさんの人たちが、各地で熱心に取り組んでいます。この紙面企画では、若き語り部たちにクローズアップ、語り部活動を通じて次世代継承に取り組む姿を記事でご紹介します。

紙面展開④

賛同企業フリースペース

2026年9月から2027年3月までの期間で、①、②、③のいずれかを選んでいただき掲載します。

①記事体広告(3段1/2モノクロ)

- ・被災地支援や防災・減災への取り組みを記事広告で朝刊に掲載します。
- ・内容素材・写真提供のうえ制作します(制作費用はかかりません)
- ・掲載は毎月下旬、複数社を取りまとめて掲載します。ご希望の掲載月をお知らせ下さい。

②ディスプレイ広告(4段1/4カラー)

- ・朝刊カラー 4段 1/4 相当のカット付きフリースペース
- ・「今できることプロジェクト」のカットを 4段 1/4 原稿内に組み込んでいただき、完全データで制作入稿していただきます。
- ・制作は広告会社を通じてお願いします。別途制作デザイン費用がかかります。

③ディスプレイ広告(4段1/2モノクロ)

- ・フリースペースとして 4 段 1/2 を自由体裁で制作していただきます。
- ・制作は②同様に広告会社を通じて完全データで制作入稿をお願いします。別途制作デザイン費用がかかります。
- ・掲載時は、弊社でカット（1段1/2）をドッキングして、5段1/2相当スペースに掲載となります。

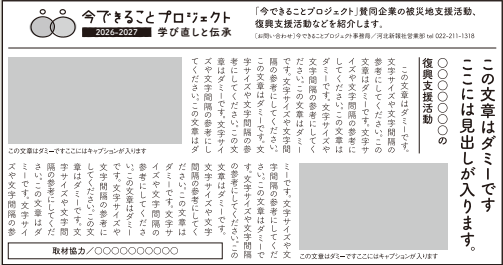
ホームページとSNS

今できることプロジェクト オフィシャルホームページ

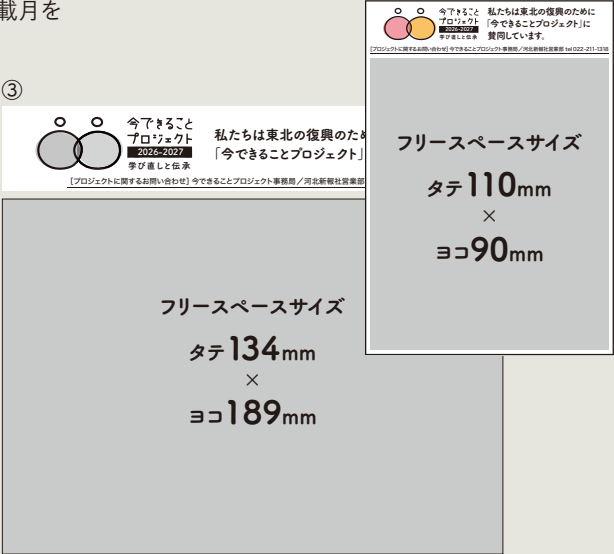
河北新報読者だけでなく
広く活動内容を発信



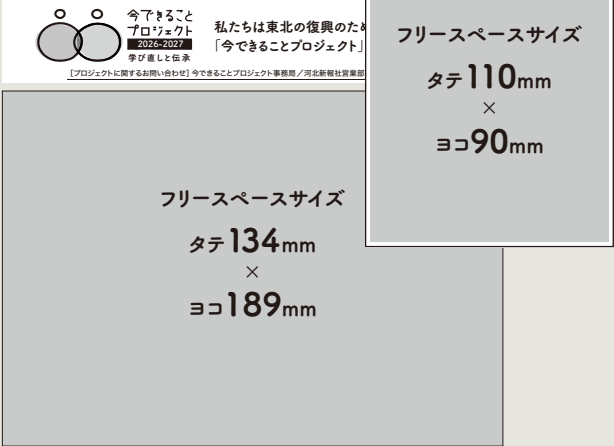
①



②



③



今できることプロジェクト Facebook

記事と連動しながら
賛同者と情報共有

